

## R5-02

## 生徒会活動や外部講師との関連や連携を図った取組

- 管 内 渡島管内
- 分 類 通学路の点検 防犯教室・防犯訓練 安全マップ  
スクールガード・リーダー等の活用 その他（ ）
- 教育課程 教科（理科） 道徳 総合的な学習（探究）の時間 特別活動
- 校 種 小学校（低） 小学校（中） 小学校（高） 中学校 高等学校
- 取組のポイント

- 1 生徒会活動と関連を図った通学路を含めた地域の危険箇所の確認と共通理解
- 2 外部講師を活用した情報モラル教室および薬物乱用防止教室の開催

## 取組の実際

## ねらい

- 生徒会活動である地域の清掃活動に合わせて安全マップの点検・見直しを行うなど、生徒に安全マップを意識させることにより、安全に関する意識を高める。
- 外部講師による専門的な知見に基づいた学習を行うことにより、生徒が主体的に自らを守る行動についての理解を深める。

## 内 容

## 1 生徒会活動との関連を図った安全マップの点検・見直し

生徒会活動である清掃活動に合わせて校区の安全マップを意識させることにより、安全に行うことができる清掃範囲や通学路を含めた校区の危険箇所について理解を深めた。

また、生徒と教職員が共に危険箇所を確認することにより、より精度の高い安全マップを目指し、点検および見直しをすることができた。



【安全マップ】



【清掃活動】

## 2 外部講師との連携を図り、生徒が主体的に自分の身を守る意識の向上

## (1) 情報モラル教室

生徒のスマートフォン所持率がほぼ100%であり、SNSやLINE等のトラブルも増加傾向にあることを踏まえ、SNSに潜む危険性や相手が見えないコミュニケーションによるトラブル、また学校生活への影響などについて学んだ。



【情報モラル教室】

## (2) 薬物乱用防止教室

薬物の使用による危険性のほか、実際に同年代の子どもたちを巻き込んだ薬物犯罪など、生徒自身にとって身近な話題に関する講話を通して、生徒が主体的に薬物の危険から自らを守る行動について考えることができた。



【薬物乱用防止教室】

## 成果と課題

- 安全マップを活用して危険箇所を確認し、実際に清掃活動を行う中で現地を確認することにより、学校と生徒の間で危険箇所を共有することができた。また、安全マップの見直しにつなげることができた。
- 外部講師の専門的な知見からの講話により、生徒自身が自分事としてとらえ、考えを深めることができていた。
- スクールバス通学生が多く校区が広い現状を踏まえ、各地区における危険箇所の確認については、学校だけではなく家庭や地域と一層、連携を図る必要がある。